

2024_0206「小石川の大雪（動画）」日々の理科 3470号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

東京では雪が降ることは非常に少なくなりましたが、全く降らないわけでもありません。主な原因は「南岸低気圧+寒気」です。稀に「房総前線」という局地的な前線が東京や横浜に雪を降らせることがありますが、大雪になるのはほとんど南岸低気圧です。

私は夕方には小石川の自宅にいましたが、少し降雪や積雪の様子を記録しておこうと思い、車で小石川桜並木を一周してきました。もちろん冬道タイヤです。ちょうどやや吹雪いていた時間帯で、さすがに車も歩行者もほとんど見かけませんでした。

さて、東京のような関東の都市では、過度な雪かきがかえって逆効果になります。道の雪は放っておいてもその日か翌日にはほとんど自然に融けて、流れてしまいます。それを本格的に雪かきをして道端や電信柱に寄せて山にしまうと、それがいつまでも融けず、また夜間に凍結して危険な状態が何日も続くのです。今日の夕方にも、雪かきをしていない路面はほぼ雪が消えていましたが、寄せた雪山はしっかり残っていました。雪が珍しいので、つい徹底的に雪かきをしたくなる気持ちもわかるのですが、東京では雪かきは最低限にしたほうが効果的です。

(2024年2月上旬／文京区小石川播磨坂)

